

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774210			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
霧島の自然を写した写真を公募し、優秀作品を展示することで、郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらう。 手順 ①開催要綱の決定 ②募集チラシの作成・広報 ③応募作品の審査 ④優秀作品の展示・表彰 (各地区の巡回展も開催する)			展示期間	2月10日~2月23日	巡回展	2月24日~3月30日
賞			応募総数	202点	応募者数	83名
			平成22年度計画			
			展示期間	2月10日~2月22日	巡回展	2月23日~3月30日
			応募総数	250点	応募者数	100名
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	出品点数	点	212	202	230	250
イ	出品者数	人	94	83	100	110
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ	県民	人	774,000	773,000	773,000	773,000
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	写真に対する関心を高めてもらう	人	500	1,700	1,750	1,800
イ	写真に対する関心を高めてもらう	人	94	83	100	110
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	273	262	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 旧国分市の市制50周年を記念し、地域の名所等を題材とした写真展を開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ デジタルカメラの普及に伴い、どこでも気軽に撮影できるようになった。
	補正予算額	0			
	予算合計	273	262		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 合併に伴い、旧市町の写真展がそのまま引き続き開催されている。集約して開催の方法を検討する必要がある。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	262			
	支出合計	262			

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬	170		170	190		190	190		190
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	92		92	72		72	72		72
消耗品費	31		31	10		10	10		10
燃料費									
食料費									
印刷製本費	61		61	62		62	62		62
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	262		262	262		262	262		262

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	262		262	262		262	262		262
計	262		262	262		262	262		262

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	273 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	273 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	写真展の開催は、写真をとおして郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらうことを目的としているため、政策に一致する。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の自然や伝統行事、産業、人々の暮らし、環境、ジオパーク等をテーマにした写真展はないため。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は霧島市を含めた県民としており、意図についても写真展をとおして霧島市の豊かな風景等の再発見や写真に対して関心を深めてもらうこととしているので、妥当である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	写真展の周知化をこれまで以上に取り組むことにより、応募数や鑑賞者の人数を増やすことが可能である。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	写真展の類似事業はあるが、いづれも限られた人の参加(写真クラブ)や限定されたテーマにであり、きりしま写真展のように幅広いテーマで応募する写真展はない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 夏祭り写真展・エアポート写真展・藤まつり写真展等との連携は可能である。
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は写真展の周知・公募を図るためのチラシの作成と写真審査に伴う報償費が主な内容であり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	文化協会加盟の写真同好会等が中心となった実行委員会で行うことも考えられる。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く市民に広報し、写真の公募を行っており、一部の市民の写真展ではないので公平・公正である。また、写真展を市民ギャラリーの開催や各地区での巡回展を行なうことでより広く市民に鑑賞の場を提供している。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	これまで5回の写真展を開催しているが、撮影ポイントが限られてきており、応募者等も特定された感がある。 しかし、写真撮影の技術や構成(アングル)などは年々向上してきており、写真展の成果は少しずつではあるが、上がってきている。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
①きりしま写真展の開催(巡回展を含む) ②他事務事業との連携 霧島市民音楽祭 エアポート写真展との合同展示 霧島市市制5周年記念事業(検討中) 多くの市民に写真展を見ていただくことにより、霧島市の新たな発見や写真の魅力に触れていただく。と言った効果が期待される。	これまで入選した写真の活用やこれまで以上に他事業(夏祭り、文化祭)との共同開催を進めて行く。

事務事業コード	774218	事務事業名	自主文化事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774218			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
市内の文化施設を活用して、優れた舞台芸術及び演奏会等の芸術鑑賞事業を開催する。 主な手順 ①事業の選定 ②業務委託 ③広報活動及びチケット販売 ④事業の開催 ⑤事業費精算 事業費の主なもの ○公演委託料 ○ポスター・チラシ・チケット印刷 ○著作権使用料 ○チケット販売手数料 など			○アグネスチャンおしゃべり&Xmasコンサート ○清水ミチ子トーク&ライブ				
			平成22年度計画				
			○トーク&ライブ(検討中) ○劇団四季こころの劇場				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	3	2	2	2	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市民	霧島市の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	優れた舞台芸術に触れてもらう	舞台・演劇・コンサートの入場者数	人	2,870	1,083	2,000	2,000
イ	"	舞台・演劇・コンサートの入場者数の内、次回も鑑賞したいと思った人の割合	%	未把握	未把握	72	74
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	7,103	21年度(決算)	4,125	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 文化施設を活用した文化事業を展開し、市民に広く芸術文化に触れる機会の充実を図ることを目的に開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 余暇時間の増大や情報化、国際化の進展に伴い、生活スタイルや価値観が変化し、物質的充実から生きがいやゆとりといった精神面の豊かさを求める方向に変わっている。
	補正予算額	0					
	予算合計	7,103		4,125			
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 自主事業参加者アンケートによると、多様で高度な芸術文化事業を低料金で開催してほしいという意見がある。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	2,118					
	一般財源	4,748					
	支出合計	6,866					

事務事業 コード	774218	事務 事業名	自主文化事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	195		195	125		125	125		125
消耗品費	5		5	15		15	15		15
燃料費									
食料費	3		3	15		15	15		15
印刷製本費	187		187	95		95	95		95
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	158		158	157		157	157		157
通信運搬費									
広告料									
手数料	158		158	157		157	157		157
保険料									
13 委託料	6,380		6,380	2,600		2,600	5,000		5,000
14 使用料及び賃借料	133		133	1,243		1,243	1,500		1,500
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	6,866		6,866	4,125		4,125	6,782		6,782

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	2,118		2,118	1,875		1,875	3,000	
一般財源	4,748		4,748	2,250		2,250	3,782		3,782
計	6,866		6,866	4,125		4,125	6,782		6,782

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	7,103 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計		7,103 千円		

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774218	事務事業名	自主文化事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は、芸術文化に対する造詣が深まり日常生活にゆとりと潤いを与え、芸術文化活動に取り組みきっかけが得られることにつながる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、市が優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術を自発的に鑑賞する機運を高めてもらうためにおこなうものであり、対象・意図とも適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	自主文化事業の内容を市民により詳しく周知すると同時に、市民ニーズを的確に捉えた事業の選定を行い事業を実施することで、より多くの市民が鑑賞することにつながる。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	芸術文化に関心の薄い市民に対して舞台芸術を鑑賞する機会を提供できなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	単独コンサートの開催ではなく、ツアーや南九州での他市町村との連携を図った企画を実施し、旅費などの経費削減に努めている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	公演当日の運営スタッフを市民ボランティアにお願いすることで削減できる。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	採算を優先させると内容が偏るため、各種ジャンルの催し物を計画的に実施し、鑑賞者の対象年齢や市民の鑑賞ニーズを的確に捉え幅広く市民に鑑賞機会を与える。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) これまで開催した自主事業においては、集客に苦慮している。事業の選定については、アンケートを取るなどして、より市民ニーズを的確に捉えた種目を選定する必要がある。また、実行委員会等を組織し、多くの市民が参画できるような体制を作って行きたい。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果 平成22年度は一般市民向けの自主文化事業(有料)と劇団四季による舞台公演「こころの劇場」を市内の小学校6年生全員に観賞させ、生の舞台芸術に触れる。 ○トーク&ライブ(検討中) ○劇団四季こころの劇場 期待される効果としては、優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供することで、芸術文化に対する造詣が深まり日常生活にゆとりと潤いを与え、文化の香り高いまちづくりに繋がる。また、平成23年度の実施に向けてアンケートを取り、市民のニーズを把握することに努める。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 自主文化事業の推進をこれまで行政主導で実施してきた体制を、今後実行委員会方式を取入れるように進めて行く。 また、事務量軽減を図るため、公演当日のスタッフを市民ボランティアにお願いする。

事務事業コード	774215	事務事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774215				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)								
霧島市少年少女合唱団に運営費の補助として補助金の支出と運営の支援を行っている。								
【活動内容】								
合唱団は市内の小学1年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月3回土曜日(午前)を練習日としている。								
霧島市少年少女合唱祭の開催や鹿児島県合唱連盟合唱祭、地区の文化祭等に出演している。								
【事務事業】								
補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言								
補助金・負担金の交付先	霧島市少年少女合唱団			補助金の対象経費	124,000			
活動指標 (事務事業の活動量)	単位			20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア 演奏会等の出演回数	回			9	6	6	7	
イ 練習回数	回			32	34	32	33	
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 児童数	市内の小学校に在籍している児童の数			人	8,126	8,053	7,821	7,700
イ 生徒数	市内の中学校に在籍している生徒の数			人	4,010	3,975	3,931	3,900
ウ								
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 合唱を通して、心豊かな青少年育成と音楽文化向上を図る	少年少女合唱団員の数			人	34	40	43	45
イ								
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	霧島市主催事業の参加者数			人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ								

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	124	22年度 (予算)	112	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
	補正予算額				学校週5日制(隔週)の導入に伴い、合唱による児童生徒の健全育成を推進するために、平成8年度に旧国分市を中心に結成された。			文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の減少に伴い、団員が減少してきている。
	予算合計	124	112					
決算額	国庫補助金				この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	112						
支出合計	112				単人及び横川地区は教室として平成20年度まで実施してきたが、その後横川地区の合唱団は自主事業として活動してきた。現在は霧島市少年少女合唱団のみが活動しており、今後は、霧島市の合唱団として統合しての運営を検討する必要がある。	特になし		

事務事業 コード	774215	事務 事業名	少年少女合唱団運営事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市少年少女合唱団									40人	補助金	124	補助金	112	補助金	112
											自主財源	314	自主財源	310	自主財源	310
											合計	438	合計	422	合計	422
										自主財源率	72%	自主財源率	73%	自主財源率	73%	
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										40人	補助金負担金合計	124	補助金負担金合計	112	補助金負担金合計	112
											自主財源合計	314	自主財源合計	310	自主財源合計	310
											自主財源率	72%	自主財源率	73%	自主財源率	73%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	124
補正予算	
合計	124

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	合唱団の設置により、年間を通じて合唱の練習に取り組むことは音楽環境の充実と青少年の健全育成につながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	音楽環境の充実による文化芸術の向上と、団員の音楽の向上並びに健全育成を図ることは、本市の役割であり活動補助金の支出は妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市内のすべての小中学生であり、意図も音楽文化の向上を目指しており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	合唱団員を募集して団員を増やすことにより、より充実した合唱(例えばオペレッタなど)に取り組むことができる。また、子どもたちが異年齢の集団の中で活動することは、仲間づくりや青少年健全育成の向上に期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金の交付廃止により合唱団活動の停滞が予想される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、合唱団員の負担金は会費6,000円、保険料1,000円であり、事業費の自主財源率も70%を越えていることから、現状が妥当である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、職員の事務は補助金交付に伴う手続きと、合唱団運営のための一部の事務作業であり、近年合唱団の保護者による保護者会を設立・充実させたことから、担当職員の事務量の大幅な削減がなされた。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	団員の募集は市内の全学校の児童生徒を対象にしており、また全体事業費の自主財源率が70%をこしていることから、公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 少年少女合唱団の活動については、年間をとおして練習や合唱祭、老人ホームへの慰問など活発に活動しており、十分に事業の目的に達していると考えている。その中であって、合唱団保護者会のより充実した活動ができるような指導を進めていきたい。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・主な取組み 鹿児島県合唱祭の参加 白い歌青い歌フェスティバルの参加 創立15周年記念演奏会の実施 ・期待される効果 音楽(合唱)の素晴らしさを市民に広めることができる 合唱団の活性化 団員の音楽(合唱)技術の向上	・より充実した合唱(例えばオペレッタなど)に取り組むことで合唱団の活性化を図り、合わせて団員の参加者を増やす。 鹿児島県合唱祭、白い歌青い歌フェスティバル等の参加 定期演奏会の実施

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	6	文化振興費		
	コード	774220			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を養成する。 霧島市内の中学生を対象に霧島市民会館、溝辺公民館(みそめ館)等のホールにて、芸術鑑賞会を実施する。 事務手続き 県への開催希望申請 → 内定 学校との調整(送迎バスの調整等)実施			内容 みやまコンセール「おとどけコンサート」 鑑賞者 997人 平成22年度計画 内容 鹿児島オペラ協会 ~歌の贈り物~ 鑑賞者 1,120人(予定)				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	2	2	2	2	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市内の中学生	中学3年生の数、引率する教員の数	人	1,361	1,437	1,320	1,304
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	入場者数	人	1,507	997	1,120	1,320
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	舞台鑑賞して感動した生徒の割合	%	未実施	未実施	70	75
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	904	22年度(予算)	879	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額		0				
	予算合計		904		879		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		647				
支出合計		647			青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常に素晴らしいことである。(学校関係者)	特になし	

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	4		4	5		5	5		5
消耗品費	4		4	5		5	5		5
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	21		21	42		42	42		42
通信運搬費									
広告料									
手数料	21		21	42		42	42		42
保険料									
13 委託料	300		300	300		300	300		300
14 使用料及び賃借料	322		322	532		532	650		650
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	647		647	879		879	997		997

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	647		647	879		879	997		997
計	647		647	879		879	997		997

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	904千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	904千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての中学3年生を対象として、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	中学校在学中に市内全生徒を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した生徒も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、さらに舞台内容の検討し、より良く効果が上げられるようにしていきたい。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	中学生の芸術鑑賞機会が減少し、芸術文化活動に新たに触れたり、取り組むきっかけが減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公演委託料のかからない県の事業を利用していることや、同日に2回公演をするなどして経費の削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	鑑賞会実施までは学校と公演団体や県との調整をする必要最小限の事務量である。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	青少年健全育成の面からも霧島市内中学生への鑑賞機会提供は公平・公正である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	中学生という多感な時期に、生の音楽や舞台芸術に触れることは大変意義のあることと考える。今後も事業の確保に努めながら、内容の充実を図りたい。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・舞台内容: 鹿児島県オペラ協会「歌の贈り物」 ・場所: 霧島市民会館、みそめ館 ・対象者: 市内中学校3年生全員 ・生の優れた舞台芸術を鑑賞することで創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	平成22年度と同様に、市内の全中学3年生を対象に実施していきたい。

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774221			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
文化・芸術に接する機会の少ない児童に生の優れた児童演劇等の舞台を鑑賞させることにより、豊かな心を養成する。 県が進めている市町村による青少年劇場を活用し、霧島市内の小学生を対象に、各学校の体育館で実施する。 各学校には3年で1回の鑑賞機会を提供できるように配分をしている。			劇団風の子九州「なるほ堂ものがたり」 牧園小、三体小、万膳小、国分西小 人形劇団クラルテ「あらしのよるに」 国分北小、川原小、木原小、陵南小				
事務手続き ①県への開催希望申請 → 内定 ②学校との調整(日程調整、体育館の確認、複数校の鑑賞の場合はバスの手配等) ③実施			平成22年度計画 神田 将「電子オルガンコンサート」 国分小、国分南小、平山小、塚脇小 横川小、安良小、佐々木小、大田小 霧島小、永水小、富隈小				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	公演の回数	回	8	5	5	6	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市内小学生	霧島市内小学生の数	人	8,126	8,053	7,821	7,800
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	舞台鑑賞児童数	人	2,750	1,985	2,510	2,639
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	舞台を鑑賞して感動した児童の割合	%	未実施	未実施	70	75
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組みきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費 単位:千円

	21年度(決算)	22年度(予算)	
予算額	当初予算額	2,627	1,797
	補正予算額	0	
	予算合計	2,627	1,797
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,767	
	支出合計	1,767	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
各市町でそれぞれのやり方で開催されていたものを、合併を機に市内のすべての小学校児童に公平に6年間で2回は鑑賞できるように開催するようにした。	合併に伴い、対象校並びに鑑賞対象者数が大幅に増加した。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
青少年に優れた芸術を鑑賞させることは創造性を育むために非常に大切である。一学校一	特になし

事務事業 コード	774221	事務 事業名	青少年劇場開催事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費							126		126
通信運搬費									
広告料									
手数料							126		126
保険料									
13 委託料	1,654		1,654	1,575		1,575	1,890		1,890
14 使用料及び賃借料	113		113	222		222	250		250
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,767		1,767	1,797		1,797	2,266		2,266

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,767		1,767	1,797		1,797	2,266		2,266
計	1,767		1,767	1,797		1,797	2,266		2,266

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	2,627 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	2,627 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての小学生を対象として輪番で、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	小学校在学中に市内全児童を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した児童も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、より充実を図るため、公演内容を検討していきたい。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	小学生の鑑賞機会が減少し、芸術文化活動に新たに取り組むきっかけが減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	旧市町で地区分けをし、児童規模の多い学校を会場とし、そこへ近隣の規模の比較的小さい学校の児童を集めて公演を実施しており、公演数の削減、バス借上げ料の削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	開催時は学校側で対応することから、職員は開催申請や県や公演団体と各学校の日程調整をする必要最小限の事務量である。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	輪番で3年に1回は芸術鑑賞の機会があることから公平・公正である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生在学中にすぐれた舞台芸術等に触れることは、子供たちの心身ともに健康な成長に大きく寄与すると考えている。今後も事業を確保しながら、内容の充実を図りたい。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・公演内容: 神田将オルガンコンサート ・公園場所: 富隈小、横川小、国分小、大田小、国分南中 ・優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	・優れた舞台芸術の提供。

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 55 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774223				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

財団法人ジェスク音楽文化振興会に霧島国際音楽祭の運営補助金を支出している。

【活動内容】

霧島国際音楽ホールを主会場として国内外で活躍する講師陣による講習会と演奏会を開催している。

期間 7月17日から8月3日(16日間)

主催 財団法人ジェスク音楽文化振興会・鹿児島県・財団法人鹿児島県文化振興財団

共催 霧島市 後援 霧島市教育委員会

【事務事業】

補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言

補助金・負担金の交付先	財団法人ジェスク音楽文化振興会	補助金の対象経費	霧島国際音楽祭の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア 演奏会の回数	回	22	46	6	6	
イ 講習会の回数 (クラス・コース)	回	17	19	17	17	
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 市民	本来は県内外を対象としているが、ここでは市民を対象とした	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 音楽祭を通して、音楽鑑賞の普及に努める	音楽を鑑賞した人数	人	10,181	14,047	11,500	12,000
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	霧島市主催事業等の参加者数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ						

(2)事業費

単位：千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	7,466	1980年鹿児島県の音楽文化向上のため講習会と演奏会を組み合わせた音楽祭がスタートした。平成6年第15回霧島国際音楽祭から霧島国際音楽ホールを主会場として開催されている。	合併前に旧牧園町及び霧島町から支出していた補助金を新市に引継ぎ同額を補助している。市民の音楽祭への参加のあり方が問われている。
	補正予算額			
	予算合計	7,466		
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	7,466		
支出合計	7,466	国内外で評価の高い音楽祭であるが、市民の音楽祭に対する関心が低く、演奏会への参加も極端に少ない。今後、演奏会への集客を図るため、市民に親しまれる演奏会とするための内容検討を求められている。	平成20年度 第2回定例市議会 「霧島国際音楽祭における本市の文化政策の位置づけについて」	

事務事業 コード	744223	事務 事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業						担 当 部	教育部
									担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	財団法人ジェスク音楽文化振興会									補助金	7,400	補助金	7,000	補助金	7,000
										自主財源	70,973	自主財源	68,125	自主財源	65,125
	合計									78,373	75,125	72,125			
自主財源率									91%	91%	90%				
2	霧島国際音楽祭シンフォニーの丘のピュッフェパー ティ-inみやま実行委員会									補助金	66	補助金	66	補助金	66
										自主財源	1,144	自主財源	1,134	自主財源	1,134
	合計									1,210	1,200	1,200			
自主財源率									95%	95%	95%				
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
計									補助金負担金合計	7,466	補助金負担金合計	7,066	補助金負担金合計	7,066	
									自主財源合計	72,117	自主財源合計	69,259	自主財源合計	66,259	
									自主財源率	91%	自主財源率	91%	自主財源率	90%	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	7,466
補正予算	
合計	7,466

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	心豊かで質の高い生活を送り、創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、優れた音楽に触れることのできる音楽祭は文化の創造を図る街づくりに必要であり文化の振興につながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に優れた芸術の鑑賞機会を提供することは、文化の香り高いまちづくりに必要である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は音楽祭の演奏会を鑑賞する市民であり、意図については音楽祭を通して音楽鑑賞の普及に努めていることから妥当である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	講習会と演奏会がセットになった音楽祭である。受講者数は伸びているが演奏会への入場者は横ばいの状況である。演奏会の内容を魅力あるものにし、観客数を増やすことは期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	国内外で評価の高い音楽祭であり、街づくりにマイナスイメージを与える。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	全体事業費の自主財源率は90%を越えているが、主催者の経費削減の努力や有料公演会の観客を増やすことで可能であると思われる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付の手続き並びに広報、地元開催(ロビーコンサート)の補助などであり、音楽祭運営には直接携わっていないため、今以上の業務時間の削減はできない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受講生からは受講料を徴収し、演奏会については入場料を徴収している。公演会の開催等は広く市民に周知しており公平・公正に運営されている。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点) 昭和55年の開始以来、本年は30回を数え国内有数の音楽祭として定着してきている。しかし、一般市民から見ると一部の音楽愛好者の音楽祭というイメージが強く、今後さらに市民層に親しまれ受け入れられる音楽祭にする必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
総括の中で、一般市民から見ると一部の音楽愛好者の音楽祭というイメージが強く今後市民層に親しまれ受け入れられる音楽祭にする必要がある、と指摘したことを鑑み、下記のような事業に取り組む。 ①エアポート・コンサート 金管・チェロのミニコンサート ②ワンコイン・コンサート 仲道郁代と訪ねる生誕200年ショパンの旅	市内の児童生徒を中心に、世界的著名な音楽家から指導が受けられる講習会(クリニック)を開催することにより、音楽の楽しさと音楽技術の向上を図る。

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
コード	774226				
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
霧島国際音楽祭開催時期に合わせて、国際音楽祭招待アーティスト等と市民の参加する市民音楽祭を開催する。市民音楽祭に出演する団体とゲスト演奏家との共演や、専門家としての音楽指導(クリニック)を行うなど交流を図る機会を提供する。また、実行委員会方式をとり、市民の意見を取り入れた、より市民に身近な音楽祭とする。 【事務内容】 ・実行委員会の設置、開催 ・出演団体を含めたプログラム内容の決定 ・ポスター・チラシ作成など広報活動 ・音楽祭実施(市民団体演奏、ゲスト演奏、市民団体とゲストの共演、合同演奏) ・各事務精算			開催日:7月20日(月祝) 会場:みやまコンセール 出演数:6団体 入場者数:770人				
			平成22年度計画				
			開催日:7月19日(月祝) 会場:みやまコンセール 出演数:6団体 入場者数:744人				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	音楽祭出演団体数	団体	9	6	6	6	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市民	霧島市の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市民音楽祭に関心を持ってもらう	市民音楽祭を鑑賞した人の数	人	700	770	744	760
イ	霧島国際音楽祭に関心を持ってもらう	霧島国際音楽祭を鑑賞した人の数	人	10,181	14,047	11,500	12,000
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費		単位:千円	(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	1,620	1,420	霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上がりを図るため、霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。
	補正予算額	0		
	予算合計	1,620	1,420	
決算額	国庫補助金	0	この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,620		
	支出合計	1,620		
			小・中学校並びに一般の音楽団体が一堂に会しての演奏会は、市民の音楽レベルの向上と、音楽文化の発展に大きく寄与している。	

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420
計	1,620		1,620	1,420		1,420	1,420		1,420

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	1,620 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,620 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を開催することによる舞台芸術活動の発表機会と鑑賞機会の提供は、日常生活に生甲斐と潤いを与え、文化の薫り高いまちづくりにつながり妥当である。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くため、市の関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術に触れることにより音楽の良さを再認識することができ、また、出演者も市内で活動している団体に広く呼びかけていることから妥当である。

B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	市民の参加者状況は良好で満席となっており、来場された方々も非常に満足して帰られるので十分成果は出ているが、今後はより成果を上げるため、出演団体の選出等に配慮をしていきたい。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が参加する演奏会であり、舞台芸術活動の発表機会や鑑賞機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)

C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	出演団体のリハーサルを前日に実施していたが、日程の調整を図ることで、音楽祭当日のみとすることで、バスの借り上げ料などを削減する。また、企業との連携等により、事業PRのためポスター、チラシに広告を掲載し、経費の削減に努める。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会に運営委員会(実働)を設置し開催時の役割分担を図り、職員の負担軽減に努めることができる。

D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民全体に呼びかけて、開催するため公平である。
----------------	---	---	-------------------------

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として、今後も継続して取り組み、より市民に身近な音楽祭に育成する必要がある。また、邦楽や民族音楽等の出演にも心がけ、幅広い音楽に触れる音楽祭をしたい。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
これまでの市民音楽祭にはなかった、ゲスト出演者による音楽指導(クリニック)を実施する。 (国分中央高校吹奏楽部) 日本を代表する音楽家による指導により、演奏技術の向上はもとより、吹奏楽に取り組む考え方も含め、大きく成長していくことを期待したい。	市民音楽祭にふさわしく、あらゆるジャンルの音楽に参加していただくため、出演団体の選考に配慮していきたい。 また、平成22年度に引き続き、市内でのクリニックを実施していきたい。

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	6	文化振興費		
コード	774211				
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
県内在住者及び環霧島会議宮崎県側市町の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。今回は~めざせ!ジオパーク~をサブテーマとして、環霧島の地質遺産を取り入れた作品も加えて募集した。 実行委員会を組織して次のような業務を行なう。 ①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) ③審査 ④入賞作品展示→表彰式 ⑤搬出 ⑥実行委員会(精算事務)			展示期間	9月16日~25日	会場	国分シビックセンター	
			応募総数	305点	応募人数	188人	
			入選以上	143点	平成22年度計画		
			霧島市制5周年を記念として、霧島美術展にこども絵画展部門を組入れた。 自由部門 テーマ部門 霧島の特徴を取り入れる こども絵画部門 わたしたちの霧島市				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	出品点数	点	311	305	977	1,000	
イ	出品者数	人	183	188	903	930	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民及び美術愛好家	市民の数	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ	県民及び美術愛好家	県民の数	人	774,000	773,000	773,000	773,000
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民の美術に対する関心を高める	美術展入場者数	人	748	1,000	1,400	1,500
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	市主催事業の参加者数	人	20,633	24,104	23,143	23,178
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	1,275	22年度(予算)	1,175	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成16年に旧国分市制50周年を記念して、市の美術協会を中心として開始された。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い、旧霧島町で開催されていた8号洋画展も合体して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。
	補正予算額	0				
	予算合計	1,275		1,175		
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが、行政のみで運営してほしいという意見が強い。	この事務事業に対する議会から出された意見 平成21年 第1回定例議会 「霧島市美術展の今後について」 ・霧島市美術展がスタートして5回を数えるが、現状と課題について。 ・霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか。
	県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,171				
	支出合計	1,171				

事務事業 コード	774211	事務 事業名	霧島美術展開催事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175
計	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	1,275 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,275 千円			

平成 21 年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	美術に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながり、市民が芸術文化活動に取り組むきっかけとなる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鑑賞、発表する機会の提供は、文化振興の向上につながり妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象に、美術への関心を高めることを目指しており適切である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	展示場所や展示方法を工夫することにより、美術作品に触れる人を増やすことは可能である。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	美術に対する感動・関心の向上により地域活性化に与える影響は大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	平成19年度に出品料を値上げしており、今後の出品料の増額は見込めないが、ポスター・パンフレット等の作成について、用紙・内容の変更や配布先・配付方法の見直しをしたり、賞品数の減により事業費の削減は可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	以前は職員対応としてきた、絵画の搬入・搬出作業や事務入力作業を、外部に委託することにより、職員の業務時間を削減した。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民を対象に開催されており、適正である。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島美術展も6回を数え、恒例行事として定着しつつあるが、まだまだ周知化を図る必要がある。また、展示会場のスペース、審査から展示までの日程、職員の事務量の削減はこれ以上望めないが、事業費については削減や広告料収入など見直す必要がある。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果 ・経費確保のため、平成22年度から広告収入を検討することとなった。 ・こども絵画展も同時開催とした。 ・展示方法の工夫 経費の削減を進めるとともに、市民に関心がもてる美術展としていきたい。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 ・広告収入の確保 ・広報活動の充実(ケーブルテレビ等) ・展示方法の工夫

事務事業コード	774214	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	溝辺出張所教育振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	教育グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	58-3191
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774214				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p>手段 (事務事業の概要)</p> <p>溝辺たかや太鼓保存会の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動) 当保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。また、運営の指導助言を行っている。 (保存会の活動) 週1回の練習を行い、演奏技術の向上を図り、市主催行事や民間からの演奏依頼に応じている。最近では、小学生の加入もあり、成人と活動を共にすることにより、社会教育活動の一環として青少年健全育成に努めている。 ※溝辺たかや太鼓保存会とは、町興し事業の一環として旧溝辺町が発足した団体。</p>								
補助金・負担金の交付先	溝辺たかや太鼓保存会			補助金の対象経費	溝辺たかや太鼓保存会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	太鼓演奏を披露した回数			回	3	3	3	4
イ								
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	溝辺たかや太鼓保存会会員		補助対象団体の会員数	人	15	15	15	15
イ								
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	自主的に参画する会員を増やすため、団体の魅力を発信する		太鼓演奏を披露した回数	回	3	3	3	4
イ								
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る		芸術文化団体・組織の数	団体	244	238	252	253
イ	"		芸術文化団体・組織の会員数	人	4,180	4,077	4,433	4,433

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	30	昭和63年8月、旧溝辺町において町興し事業の一環として発足した。太鼓は、旧溝辺町が備品として購入。打ち子は広く町民に呼びかけ、成人男女約30人が応募した。同時に保存会を立ち上げるとともに、活動運営に係る経費助成を図るため補助金の交付を開始した。		会員が当初成人のみであったが、現在は小学生も会員になっている。
	補正予算額				
	予算合計	30	30		
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		活動が知られることにより、地域やイベント主催者からの出演依頼がある。		特になし
	地方債				
	その他				
	一般財源	30			
支出合計	30				

事務事業 コード	774214	事務 事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担 当 部	教育部
運 営				担 当 課	溝辺出張所教育振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	溝辺たかや太鼓保存会									15人	補助金	30	補助金	30	補助金	30
											自主財源	33	自主財源	33	自主財源	33
											合計	63	合計	63	合計	63
											自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計										15人	補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30
											自主財源合計	33	自主財源合計	33	自主財源合計	33
											自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山				全国	九州	県	その他	
										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	30
補正予算	
合計	30

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大人から子どもまで太鼓を通じ交流を深めており、併せて地域おこし、ふるさとづくりに寄与している。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民の地域おこしの一環を支援することは、行政の責務である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	たかや太鼓保存会会員を対象に、団体の魅力を発信することを意図しており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	太鼓演奏を披露する機会をより多く設け、団体の魅力を発信することで成果向上の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助により団体活動の活性化に繋がっているため、廃止により、保存会の衰退していく可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自主財源率も半分を超えており、これ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付事務と各種イベントへの参加調整のみであり、削減に値するものはない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生以上なら会員になりたい人は誰でもなれる

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	保存会の活性化を図るため、地域の行事などでの発表の機会を確保するなど支援をしていく。

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
発表の場を確保して団体の活性化を図る。	大人の会員増を目指す。

事務事業コード	774216	事務事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774216				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)							
霧島市文化協会に運営費の補助として補助金を支出していると同時に運営の助言を行っている。 霧島市文化協会は、市内で文化活動を目的とする各種団体及び同好会が相互の連絡協調を図り研さんを深めるために結成している任意団体。霧島市文化協会の傘下には、旧市町ごとに支部文化協会を置き運営を行っている。 【活動内容】 霧島市文化協会:霧島市芸術祭、会報霧島の発行、総会の開催 文化協会支部 :研修会・文化祭の実施、支部文化協会だよりの作成、チャリティショー(単人・国分) 【事務事業】 補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言 (平成22年度から成果指標を変更する。)							
補助金・負担金の交付先	霧島市文化協会		補助金の対象経費	霧島市文化協会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	文化協会による文化事業の開催数(文化祭、チャリティショーなど)	回	10	10	10	10	
イ	文化協会による文化事業への参加団体数	団体	249	250	250	250	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	文化協会団体	文化協会団体数	団体	244	238	229	229
イ	文化協会会員	文化協会会員数	人	4,180	4,077	4,050	4,050
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行う。	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行った人の割合	%	未把握	未把握	80	85
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。	芸術文化団体・組織の数	団体	244	238	252	253
イ	スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。	芸術文化団体・組織の会員数	人	4,180	4,077	4,433	4,433

(2)事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額		
当初予算額	2,241	2,017
補正予算額		
予算合計	2,241	2,017
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2,241	
支出合計	2,241	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
市の合併を契機に平成18年5月に霧島市文化協会が設立され、旧文化協会個別に交付していた補助金を一本化したことにより本事業を開始した。なお、旧市町の文化協会は支部として活動を継続している。	地区によっては、会員の減少に伴い活動が停滞している地区もある。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
市の教育出張所の対応が地区によってばらつきがある。(文化協会役員からの意見)	特になし

事務事業 コード	774216	事務 事業名	文化協会運営支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市文化協会									4,050 人	補助金	2,241	補助金	2,017	補助金	2,017
										自主財源	475	自主財源	475	自主財源	475	
										合計	2,716	合計	2,492	合計	2,492	
	対象地区	●								自主財源率	17%	自主財源率	19%	自主財源率	19%	
2											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
	対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										4,050 人	補助金負担金合計	2,241	補助金負担金合計	2,017	補助金負担金合計	2,017
											自主財源合計	475	自主財源合計	475	自主財源合計	475
											自主財源率	17%	自主財源率	19%	自主財源率	19%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,241
補正予算	
合計	2,241

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会を核とした文化活動を日常生活の中に積極的に取り入れてもらうことは、芸術文化の振興につながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会を核とする文化団体に市が支援することは霧島市の芸術文化向上に寄与していることから妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	文化協会会員、団体を対象として、意図は充実した文化活動を行うとしており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化協会等の組織の充実を図り、積極的な文化活動を展開し、新たな会員や新規団体の掘り起こしを行う。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化活動の停滞や地域の文化活動の担い手が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	会費の値上げや自主財源の確保により、事業費の削減は可能である。しかし会費の値上げは協会から退会する可能性がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化協会は事務局を設け、文化協会の運営に関する事務は全て協会で行っている。職員の業務としては、補助金の交付と文化祭等の主な行事の補助であり、最小限の事務量である。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化祭等、市民を対象に開催されている。また、それぞれの会員が文化協会費を負担している。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 全体的に積極的な活動がなされ、運営も自立している。しかしながら、会員の高齢化が進みつつあり、今後は若年層の会員介入促進が課題と思われる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・霧島市文化協会においては、霧島市芸術祭の実施、会報「きりしま」の刊行。 ・各支部においては、文化祭、チャリティーショー等の実施。 ・積極的な文化活動を展開することにより、組織の充実と新たな会員や新規団体の掘り起こしにつながる。	・霧島市芸術祭や文化祭、チャリティーショー等の充実を図る。 ・事業費の有効活用や、会費の見直しについて協会に働きかけを行っていきたい。

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業		担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり			担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承			グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ			電話番号	42-1111
					内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 21 年度~)
	項	6	社会教育費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費		根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
	コード	774318				
関連計画						

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から天孫降臨、クマノ・ハヤト伝説、大隅国の建国、島津氏の台頭など歴史的な文化財が多く点在している。そこで、新霧島市の合併に伴い、「霧島市を知る」をテーマとした事業を展開し、その一環として市内にある文化財をテーマ毎に紹介したハンドブックを作成する。市民へ販売予定。 ・事業実施年度 当面、平成21年度~平成30年度とする。(事業延長の可能性あり) ・刊行予定(テーマ):①霧島の田の神 ②霧島の神社 ③霧島の郷土芸能 ④霧島の城郭 ⑤霧島の史跡(石造物) ⑥霧島の遺跡 ⑦霧島の年中行事 ⑧霧島の天然記念物 ⑨霧島の石造物(石橋、石倉、水門、井堰) など ・パンフレット作成数 :2000冊/テーマ ・パンフレットは販売する予定 :300円(1冊)			市内各地区の田の神158基を調査し、報告書刊行の準備ができた。			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市を紹介する資料(刊行する冊子の数)	冊	0	0	2,000	2,000
イ	調査した文化財の数	件	0	158	119	84
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	ハンドブックで霧島市の文化財を知る	冊	0	0	50	100
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	人	79.7	80.8	73.0	74.0
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	165	22年度(予算)	900	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 文化財を後世に伝えていくためには、伝統文化に対する市民の認識を高めることが重要であることから対象を市民、意図を市内の文化財を正しく知るとした。同時に市内の現存する文化財が後世に残る(記録保存)ことも目的としている。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 把握していない文化財が多数明らかになってきた。
	補正予算額		0				
	予算合計		165		900		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		125				
	支出合計		125				

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	65		65	205		205	410		410
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	60		60	695		695	720		720
消耗品費	20		20	15		15	30		30
燃料費	20		20	20		20	30		30
食料費									
印刷製本費	20		20	660		660	660		660
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	125		125	900		900	1,130		1,130

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				250		250	480	
一般財源	125		125	650		650	650		650
計	125		125	900		900	1,130		1,130

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成21年度	当初予算	165千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	165千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ハンドブックを作成することで市民が市内の文化財を正しく知ると共に、現存する文化財が後世に残る(記録保存)。結果として、地域の伝統文化を学び、地域を知ることができるという政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化を市民に周知し、本市の歴史・文化への理解を深めてもらうことは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市民と文化財とし、それぞれ文化財を知ることと、後世に伝えることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年ジャンルごとの文化財を調査し、その成果をより多くの市民に購入してもらうことで成果は向上していく。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	消失する文化財も少なくなく、また、伝承されてきた無形の文化財も高齢化や核家族化に伴って失われつつあるため、早期の着手が必要である。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員自ら成果品の原稿作成まで行っており、これ以上のコスト削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	資料としての質を高めるために専門家の方に一部執筆を依頼したり、文化財の所在地などは市民に情報提供を呼びかけたりして、職員の業務時間を削減する。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	刊行されたハンドブックは、文化財の情報を必要とする市民に有償で販売することで、受益と負担の公平性が保たれる。小冊子の価格を300円(1冊)とする根拠は、現在刊行している「霧島文化財ハンドブック」が300円で販売しているため。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各地区にそれぞれ調査員を1名配置したが、地区によって文化財の密疎があり、負担が偏った。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
平成22年度は霧島の神社調査を行うことと調査済みの田の神の調査報告書作成し、テーマ別のハンドブックの販売及び文化財や歴史に興味を持つ市民の増加を図りたい。 地域の文化財等に詳しい方々を調査員として募集し、効率的な調査に努める。(調査員の登録)	テーマによっては調査の事務量が多いため、調査員の確保に努めることと、調査結果のスムーズな公表のための調査計画の見直しを行う。

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	7	文化財保護費		特になし
コード	774311				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島を知る」をテーマとした次のような、文化財保護啓発事業を実施する。 ①文化財に関するパンフレットの作成 ②市報に「郷土史への扉」を掲載 ③文化財保護強調週間の周知 ④「文化財防火デー」に合わせて、神社による防火訓練の実施 ⑤縄文シティサミット・全国史跡整備市町村協議大会への参加 ⑥調査した文化財の資料整理の実施 など			広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島」パンフレット増刷。広報誌に「郷土史への扉」を掲載。文化財保護強調週間の周知化				
			平成22年度計画				
			広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島」パンフレット増刷。広報誌に「郷土史への扉」を掲載。文化財保護強調週間の周知化				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	広報活動・情報発信の数	件	10	9	10	10	
イ	文化財防火訓練の実施	回	3	3	3	3	
ウ	パンフレット・文化財調査物の刊行部数	冊	2,500	2,700	4,000	3,000	
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	文化財に関心をもってもらう。	パンフレット等を刊行した数	冊	7,000	4,500	4,000	4,000
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	伝統文化を知っている市民の割合	%	79.7	80.8	73.0	74.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	1,779	21年度 (決算)	1,768	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	0					
	予算合計	1,779		1,768			
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	1,783					
	支出合計	1,783					
				市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。		特になし	

事務事業 コード	774311	事務 事業名	文化財保護啓発事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,081		1,081	1,082		1,082	1,082		1,082
8 報償費	25		25				4		4
9 旅費	365		365	352		352	400		400
10 交際費									
11 需用費	227		227	237		237	299		299
消耗品費							62		62
燃料費				10		10	10		10
食料費									
印刷製本費	227		227	227		227	227		227
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	85		85	97		97	97		97
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,783		1,783	1,768		1,768	1,882		1,882

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,783		1,783	1,768		1,768	1,882		1,882
計	1,783		1,783	1,768		1,768	1,882		1,882

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	1,779 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,779 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、文化財を大切にすることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化財愛護思想を高めることで、各種イベントへの参加者が増え、成果を高めることができる。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを怠ると、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 各種イベント事業
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在でも市報やホームページを活用して意識啓発を行っており、これ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	意識啓発用の原稿作成等が主な業務であり、削減余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	歴史や文化財についての広報がまだ不十分と思われるので、これまでの広報活動に加え、各種イベント等と連携し、文化財を紹介するコーナーを設置するなどして情報発信をすることが必要である。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
①他団体・イベント等との連携により、さらに情報を提供する。 ②自然公園ふれあい全国大会やエコミュージアム事業などと連携し、新たな史跡めぐりコースを設定することでより多くの文化財を市民に紹介することができる。	各種団体が行うイベント等において、パネル展示を行うなどして文化財の保護の周知を図る。

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等理念条例 霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774319				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)								
昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会の提供を行う。								
主な業務の内容								
①郷土芸能保存活動事業費補助金(運営補助)								
②イベント等への出演依頼								
郷土芸能保存団体の活動								
①郷土芸能の保存継承								
②地域の行事やイベントでの郷土芸能の発表								
補助金・負担金の交付先	郷土芸能保存会		補助金の対象経費	郷土芸能を継承するための運営補助				
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	運営補助している郷土芸能保存会の数		団体	16	16	16	16	
イ	イベント等への出演を行った団体の数		団体	44	45	45	46	
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	保存団体		霧島市内の郷土芸能保存団体数	団体	44	44	45	46
イ	市民		霧島市の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	郷土芸能が保存・継承される		団体の会員数が増えた団体数	団体	2	3	2	2
イ	伝統文化にふれる機会を持つ		団体の発表の数	回	32	35	36	37
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。		発表を行っている団体の数	団体	44	45	44	44
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	549	3,424	土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため。また、後継者を育成するために始められた。運営補助としては、昭和50年代から実施している。	生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。保存会会員の高齢化が進むことで、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。(平成18年度:34団体中2団体が活動休止)
	補正予算額				
	予算合計	549	3,424		
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	549			
支出合計	549			地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	特になし

事務事業 コード	774319	事務 事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業						担当部	教育部
									担当課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	下井道化踊り保存会									18人	補助金 40	補助金 40	補助金 40	補助金 40	補助金 40
											自主財源 40	自主財源 47	自主財源 47	自主財源 47	自主財源 47
										合計	80	87	87	87	87
										自主財源率 50%	自主財源率 54%	自主財源率 54%	自主財源率 54%	自主財源率 54%	
2	清水田の神舞保存会									13人	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36
											自主財源 111	自主財源 51	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55
										合計	147	87	91	91	91
										自主財源率 76%	自主財源率 59%	自主財源率 60%	自主財源率 60%	自主財源率 60%	
3	敷根琉球人踊り保存会									31人	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36
											自主財源 54	自主財源 40	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55
										合計	90	76	91	91	91
										自主財源率 60%	自主財源率 53%	自主財源率 60%	自主財源率 60%	自主財源率 60%	
4	重久神舞保存会									18人	補助金 37	補助金 37	補助金 37	補助金 37	補助金 37
											自主財源 95	自主財源 106	自主財源 106	自主財源 106	自主財源 106
										合計	132	143	143	143	143
										自主財源率 72%	自主財源率 74%	自主財源率 74%	自主財源率 74%	自主財源率 74%	
5	重久太鼓踊り保存会									25人	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63
											自主財源 70	自主財源 67	自主財源 67	自主財源 67	自主財源 67
										合計	133	130	130	130	130
										自主財源率 53%	自主財源率 52%	自主財源率 52%	自主財源率 52%	自主財源率 52%	
6	広瀬道化踊り保存会									18人	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45
											自主財源 63	自主財源 50	自主財源 95	自主財源 95	自主財源 95
										合計	108	95	140	140	140
										自主財源率 58%	自主財源率 53%	自主財源率 68%	自主財源率 68%	自主財源率 68%	
7	府中太鼓踊り保存会									43人	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63
											自主財源 94	自主財源 98	自主財源 98	自主財源 98	自主財源 98
										合計	157	161	161	161	161
										自主財源率 60%	自主財源率 61%	自主財源率 61%	自主財源率 61%	自主財源率 61%	
8	小脇郷土芸能保存会									8人	補助金 33	補助金 33	補助金 33	補助金 33	補助金 33
											自主財源 18	自主財源 18	自主財源 18	自主財源 18	自主財源 18
										合計	51	51	51	51	51
										自主財源率 35%	自主財源率 35%	自主財源率 35%	自主財源率 35%	自主財源率 35%	
9	三体棒踊り保存会									23人	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45
											自主財源 241	自主財源 231	自主財源 231	自主財源 231	自主財源 231
										合計	286	276	276	276	276
										自主財源率 84%	自主財源率 84%	自主財源率 84%	自主財源率 84%	自主財源率 84%	
10	万膳太鼓踊り保存会									24人	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45
											自主財源 20	自主財源 15	自主財源 15	自主財源 15	自主財源 15
										合計	65	60	60	60	60
										自主財源率 31%	自主財源率 25%	自主財源率 25%	自主財源率 25%	自主財源率 25%	
11	田口棒踊り保存会									16人	補助金	補助金 28	補助金 28	補助金 28	補助金 28
											自主財源	自主財源 43	自主財源 43	自主財源 43	自主財源 43
										合計		71	71	71	71
										自主財源率	自主財源率 61%	自主財源率 61%	自主財源率 61%	自主財源率 61%	
12	田口田の神舞保存会									6人	補助金 26	補助金 26	補助金 26	補助金 26	補助金 26
											自主財源 1	自主財源 1	自主財源 1	自主財源 1	自主財源 1
										合計	27	27	27	27	27
										自主財源率 4%	自主財源率 4%	自主財源率 4%	自主財源率 4%	自主財源率 4%	
13	霧島俵踊り保存会									20人	補助金 31	補助金 31	補助金 31	補助金 31	補助金 31
											自主財源 37	自主財源 45	自主財源 45	自主財源 45	自主財源 45
										合計	68	76	76	76	76
										自主財源率 54%	自主財源率 59%	自主財源率 59%	自主財源率 59%	自主財源率 59%	
14	柵田棒踊り保存会									12人	補助金	補助金 18	補助金 18	補助金 18	補助金 18
											自主財源	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55
										合計		73	73	73	73
										自主財源率	自主財源率 75%	自主財源率 75%	自主財源率 75%	自主財源率 75%	

15	川路原刀踊り保存会								18人	補助金	24	補助金	24	補助金	24
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	50	合計	50	合計	50
								○	自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%	
16	新原鎌踊り保存会								37人	補助金	25	補助金	25	補助金	25
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	51	合計	51	合計	51
								○	自主財源率	51%	自主財源率	51%	自主財源率	51%	
17										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
18										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
19										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
20										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計								221人	補助金負担金合計	549	補助金負担金合計	595	補助金負担金合計	595	
									自主財源合計	896	自主財源合計	919	自主財源合計	983	
									自主財源率	62%	自主財源率	61%	自主財源率	62%	

負担金の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	549
補正予算	
合計	549

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、郷土芸能に対する意識の高揚が図られる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保護と活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、市民への披露などが充実することから、対象・意図とも妥当である。

B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	高齢化に伴う後継者不足が切実な問題となっているが、会員数が増える団体が出てくれば、本事業の成果は向上すると思われるので、さらに、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行ってほしい。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 隼人町民芸保存会運営支援事業

C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本来郷土芸能は、それぞれの地域に根付いたものであり、保存会のみでの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。そのため、保存会への運営補助を削減することは厳しい状況である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上の出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。

D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
----------------	--	---	---

総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	高齢化等で各保存会の会員数が減少傾向にあるため、地域全体で保存を考える必要がある。発表の機会については、地域の行事等で出演の機会が若干ではあるが増加しているのではと考えている。引き続き発表の機会の増について支援を行う必要がある。

3 今後の方向性<PLAN>

(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
各地区1団体による郷土芸能を発表する場として、第1回郷土芸能祭を開催し、出場機会を増加する。隼人町民芸保存会運営支援事業との統合の可能性について協議を行う。	①郷土芸能祭開催の継続 ②市全体の郷土芸能保存団体の結成

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	教育振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	教育グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	57-1111
				内線番号	5840
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	コード	774225			
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)								
霧島地区に伝わってきた「霧島神楽」を約80年ぶり復活した。この貴重な郷土芸能を後世に伝える為、振興会の運営を支援するため助成するものである。 <振興会の活動内容> ・伝統芸能伝承のための定期練習会の開催 ・天孫降臨霧島祭への参加(例年)、公民館講座の指導、きりしまチャレンジャーでの神楽指導、など <事務事業> ・補助金交付に係る諸手続き								
補助金・負担金の交付先	霧島神楽振興会			補助金の対象経費	霧島神楽振興会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島神楽振興会公演回数			回	25	24	25	25
イ	講習の延回数			回	28	28	25	25
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	市民		人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ	神楽振興会会員	神楽振興会会員数		人	42	38	40	41
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島神楽を知ってもらおう	南九州神楽祭り参加者数		人	4,400	7,290	4,500	4,600
イ	霧島神楽を伝承する	伝承のための講習会への参加人数		人	225	329	340	350
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう	団体登録者数		団体	2,644	2,515	2,515	2,515
イ								

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	447	22年度(予算)	429	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 霧島町内の民家で270年前の古文書が発見され、その中に霧島神楽が現存していた記述があった。そこで町民の関心を高めようと波野村の「中江岩戸神楽」と古文書を参考に復活させた。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 発足当時は数十名いた会員も高齢化や職場の異動(役場職員もかなり居た)により、少しずつ遠退いてゆき、今では40名ほどで活動している。しかし、近年、新規会員の加入もあり、やや活気付いてきている。
	補正予算額						
	予算合計	447	429				
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地域住民から霧島神楽を大切に守り伝えていくべきだという意見が寄せられている。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		429				
支出合計		429					

事務事業 コード	774225	事務 事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担 当 部	教育部
運 営				担 当 課	教育振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島神楽振興会									38人	補助金	477	補助金	429	補助金	429
											自主財源	957	自主財源	360	自主財源	360
											合計	1,434	合計	789	合計	789
										自主財源率	67%	自主財源率	46%	自主財源率	46%	
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										38人	補助金負担金合計	477	補助金負担金合計	429	補助金負担金合計	429
											自主財源合計	957	自主財源合計	360	自主財源合計	360
											自主財源率	67%	自主財源率	46%	自主財源率	46%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	447
補正予算	
合計	447

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、伝統文化を継承し、広めてもらうことにつながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保護と活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、市民への披露などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	地域の行事や運動会、文化祭、市主催の行事など、これまで以上に振興会が出演する機会の提供を図ることで、振興会の活性化や後継者育成に結びつけて行くことができる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本来郷土芸能は、それぞれの地域に根付いたものであり、保存会のみで保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。そのため、保存会への運営補助を削減することは厳しい状況である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は振興会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上に出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、郷土芸能は国民共有の財産であり、その地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、振興会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の行事への出演やみやまコンセールでの定期的な発表を行っている。今後は振興会の活性化を図るため、神楽師確保や新たな座の創設などに取り組むことも必要と考える。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・各種イベント等への出演や神楽講座の実施。 ・霧島神楽を周知するとともに、振興会の活性化を図る。	・これまで出演してきたイベント等以外にも積極的に出演できるように、関係者との連携を図っていく。

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	42-1111
基本事業名	3	文化財の保存・整備		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度 ~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)
	目	7	文化財保護費		文化財保護法、霧島市文化財保護条例
	コード	774313			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要) 埋蔵文化財が包蔵されている土地において開発行為により、破壊される埋蔵文化財を事前に発掘調査し、その成果を報告書にまとめ、記録保存として遺跡を後世に残す。		主な活動	平成21年度実績 民間開発及び公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施した。 ①福山牧之原地区②国分春山地区③溝辺町曲迫遺跡				
			平成22年度計画 ①軍山遺跡の調査②緊急調査への対応				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数	件	8	5	3	3	
イ	発掘調査報告書の数	冊	300	600	300	300	
ウ							
対象 (誰、何を対象としているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	周知の埋蔵文化財包蔵地	周知の埋蔵文化財包蔵地の数	カ所	518	523	530	540
イ	市民	人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	遺跡が記録保存される	記録保存された遺跡の数	件	8	5	3	3
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	文化財を適切に保存し、後世に残す。	保存されている文化財の数	件	667	684	690	700
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	1,634	22年度 (予算)	10,701	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵文化財の保護について取組んできた。霧島市においても平成17年度(合併当初)から緊急な発掘調査に対応するため予算を計上している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきており、工事立会い等も増加している。
	補正予算額	0					
	予算合計	1,634	10,701				
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 民間開発に伴う発掘調査については、民間業者の意見として早急な対応をしてほしい。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	528					
支出合計	528						

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費				19		19	19		19
7 賃金	61		61	4,017		4,017	4,017		4,017
8 報償費				30		30	30		30
9 旅費				9		9	9		9
10 交際費									
11 需用費				690		690	703		703
消耗品費				186		186	186		186
燃料費				62		62	62		62
食料費							5		5
印刷製本費				442		442	450		450
光熱水費									
修繕料									
12 役務費				65		65	65		65
通信運搬費				60		60	60		60
広告料									
手数料				5		5	5		5
保険料									
13 委託料	467		467	4,090		4,090	5,000		5,000
14 使用料及び賃借料				1,781		1,781	1,800		1,800
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	528		528	10,701		10,701	11,643		11,643

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				9,000		9,000	9,000	
一般財源	528		528	1,701		1,701	2,643		2,643
計	528		528	10,701		10,701	11,643		11,643

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	1,634 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,634 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種開発行為に伴い、周知の埋蔵文化財包蔵地を調査し、記録、保存することは、文化財を適切に保存することに結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種法令により、調査主体は行政であることが求められているため妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	調査された遺跡・遺物についての実施であり、対象・意図ともに変える必要はない。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	緊急調査に対処することについては向上余地はないと考える。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財保護法に則って実施する事業であり、廃止・休止することはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、作業に必要な最低限の消耗品費、光熱費、手数料、保険料、委託料しかなく、これ以上の削減は不可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	常勤職員は別事業との兼務が多く、厳しい状況であるが、業務を他機関に委託することによって業務時間を削減できる。但し、開発者の経費負担が増となるため検討を要する。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護法に則って実施する事業であり、公平性は保たれている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ほとんどが緊急を要する調査で、職員での対応が難しい場合が多いので、民間業者の活用が必要である。 余裕を持った事業計画策定について、事業主や建設業者への広報が必要である。

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
調査の効率化を高めるために、作業従事者の専門性の向上を図るとともに、作業工程等の見直しを行う。 特に専門性の高い作業等については、外部に委託し効率化を図る。	事業主や建設会社等に対し、文化財包蔵地の周知の徹底を図るとともに、文化財の確認制度等について広報を行う。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 11 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	地方自治法、文化財保護法
コード	774314				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡(社家館跡等)の範囲や遺構の確認、さらには史跡整備のための基礎資料を得るため、発掘調査(確認調査)を行う。 また、国庫補助の対象となる個人または零細企業が実施する開発行為に対応するための発掘調査を実施する。 ①大隅国分寺跡及びその周辺(国分寺域内)の確認調査の実施。 ②大隅正八幡(鹿児島神宮)社家の確認調査の実施。 ③発掘調査(国庫補助対象分)の実施。			大隅国分寺跡・大隅正八幡宮跡・緊急埋蔵文化財発掘調査			
			平成22年度計画			
			①沢氏館跡の調査②最勝寺氏館跡の調査③調査指導委員会の開催			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	範囲確認調査の数(整理作業含む)	件	2	3	2	2
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡(社家館跡等)	箇所	2	3	2	2
イ	市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地	件	518	523	525	527
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	遺跡の範囲や遺物・遺構の残存状況を把握する。	m ²	306	80	100	100
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	適切に保存し、後世に残す。	カ所	667	684	690	710
イ						

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	7,010	21年度(決算)	5,010	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 大隅国分寺跡の整備を図るための範囲等確認を平成11年から国庫補助を導入し開始した。また、大隅正八幡(鹿児島神宮)関連遺跡群の範囲確認調査も平成12年度から補助事業を導入し実施している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 一時期に比べ、開発行為が増えてきており、確認調査及び工事立会いの件数も増加傾向である。範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺跡に関する調査結果が得られた。
	補正予算額	0					
	予算合計	7,010		5,010			
決算額	国庫補助金	3,500			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や遺跡保存の必要性の指摘を受けている。一方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を求められている。	この事務事業に対する議会から出された意見 大隅国分寺跡前の市道拡張と文化財との調整について	
	県支出金	700					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,800					
支出合計	7,000						

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度(決算)			平成22年度(当初予算)			平成23年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費		15	15		12	12		15	15
7 賃金		4,802	4,802		2,428	2,428		4,802	4,802
8 報償費		60	60		140	140		13	13
9 旅費		272	272		985	985		980	980
10 交際費									
11 需用費		757	757		120	120		820	820
消耗品費		339	339		105	105		300	300
燃料費		20	20		5	5		20	20
食料費									
印刷製本費		351	351		10	10		500	500
光熱水費		47	47						
修繕料									
12 役務費					169	169		150	150
通信運搬費									
広告料									
手数料					169	169		150	150
保険料									
13 委託料		750	750		1,090	1,090		900	900
14 使用料及び賃借料		344	344		66	66		320	320
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計		7,000	7,000		5,010	5,010		8,000	8,000

財源内訳	国		3,500	3,500		2,500	2,500		4,000	4,000
	県		700	700		500	500		800	800
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源		2,800	2,800		2,010	2,010		3,200	3,200	
計		7,000	7,000		5,010	5,010		8,000	8,000	

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成21年度	当初予算	7,010 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	7,010 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡は本市を代表する文化財であり、これを保存・整備することにより、市民や霧島を訪れた人が本市の歴史・文化を正しく理解し文化財に対する意識が深まるとともに、文化財を大切にすることを心がけるようになる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保護と活用は、地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、文化財の保護・整備は市が行わなければならない事務事業である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡は市街地内にあり、都市化が進む中で、遺跡の破壊・消失が懸念されているところであるので、早急な対応が必要である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	調査が進むごとに、遺跡の範囲や遺構が判明するので成果は向上していく。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	両遺跡とも市街地にあり都市化が進んできている。このままの状態でおくと、遺跡の破壊・消失が懸念される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	発掘調査の作業のほとんどが手作業であり、また現地は市街地で住宅等に囲まれた場所が多く、大型機械の導入も難しいので、作業効率も悪く、事業費削減は厳しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	測量機器の導入、石器・土器などの遺物実測の委託など、職員の事務量の軽減を図ることができる。但し、委託などに伴う費用は必要となる。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ遺跡はその地域の歴史を色濃く残すものである。文化財の保護と活用は地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、これらのことを考慮すると、行政が実施するのはやむを得ない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅正八幡宮関連遺跡群については国指定を目指しており、調査指導委員会委員の意見を調査に反映させるためには、精密機器の導入や文化財専門員を保有している民間業者への委託が必要と考えている。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
埋蔵文化財専門の測量員がいる民間業者を積極的に活用することで、事業の効率性を高める。 民間の高い技術を活用することで、高い精度の成果を得ることができる。	国指定具申に向けての最終的な成果の取りまとめ

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 62 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市文化財保護条例
コード	774310				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。

※環境整備とは、文化財整備を終えた文化財の維持管理のことをいう。

(市の活動)文化財の養生や周辺の環境整備及び霧島神宮・鹿児島神宮への補助金支出事務
(霧島神宮の活動)国指定建造物の社殿改修、事業実施期間平成21年度～27年度、平成23年度工事予定期間平成22年4月～平成23年3月、
(鹿児島神宮の活動)県指定建造物の本殿壁画修復、事業実施期間平成21年度～25年度、平成23年度工事予定期間平成22年6月～平成23年9月

補助金・負担金の交付先	霧島神宮・鹿児島神宮	補助金の対象経費	霧島神宮は経費の1/6、鹿児島神宮は1/3			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 整備した文化財の数		件	4	4	4	4
イ 設置した文化財説明板・標柱の数		カ所	20	12	15	15
ウ 環境整備を実施する文化財の数		件	46	46	46	46
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 市内の文化財	市内文化財の数	カ所	667	684	690	710
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 修復、復元、養生を実施する	環境整備を実施した文化財の数	件	4	4	4	4
イ 文化財について解説し、正確な情報を提供する	設置した文化財説明板・標柱の数	部	20	12	15	15
ウ 清掃等周辺整備を行う	環境整備を実施する文化財の数	件	46	46	46	46
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 文化財を適切に保存し、後世に残す	整備する文化財の数(累計)	件	237	248	284	305
イ						

(2)事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額		
当初予算額	8,604	15,942
補正予算額		
予算合計	8,604	15,942
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	8,729	
支出合計	8,729	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。	風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
一般市民から ・文化財の経緯等が、説明板でわかった。 ・草払いや掃除で、きれいになった。 ・案内標柱を設置して欲しい場所がある。	特になし

事務事業 コード	774310	事務 事業名	文化財整備事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島神宮									補助金	6,000	補助金	10,800	補助金	10,800
										自主財源	24,000	自主財源	43,200	自主財源	43,200
	合計									30,000	80%	54,000	80%	54,000	80%
2	鹿児島神宮									補助金	487	補助金	973	補助金	973
										自主財源	973	自主財源	1,947	自主財源	1,947
	合計									1,460	67%	2,920	67%	2,920	67%
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
計										補助金負担金合計	6,487	補助金負担金合計	11,773	補助金負担金合計	11,773
										自主財源合計	24,973	自主財源合計	45,147	自主財源合計	45,147
										自主財源率	79%	自主財源率	79%	自主財源率	79%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	8,604
補正予算	
合計	8,604

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の修復、復元、養生等の整備を図り、文化財説明看板で見学者へ情報提供することは、文化財を適切に保存し、後世へ残すことにつながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である。当市の財産を整備し、広く市民へ知らせ、後世へ残していくことは市の重要な責務である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市全域の文化財を対象としており、適切な範囲である。また、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財を整備し、市民へ情報発信し、後世に伝える必要があることから意図も適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年度文化財の周辺整備(清掃等)を行い、説明板等を順次整備していけば、本事業の成果は向上していく。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、見学者への情報提供もされず、市民の文化財愛護思想の低下につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化財の保存のために必要不可欠な修復、養生を実施している。今後、文化財活用の面から考えて整備対象を増やしていく必要があるため、これ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は概ね委託により実施している。事業に関する人件費については、少人数で仕様書作成、委託先選定、契約事務、検査を行っており、節減・節約はできない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は国民共有の財産であり、受益者は広く市民となるため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 文化財や案内看板の現状を正確に把握し、優先順位をつけて計画的な整備を行うことで、市民への周知を図る。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
文化財の現状(案内板、標柱等を含む)について調査を行い、整備計画書作成の準備を行う。修復が終了した文化財については公開や広報を行うことで関心を高めていく。	文化財の整備計画書を作成し、計画的な整備に取り組む。県の文化財巡視指導員や地域の住民などの協力を得て、文化財の定期的な点検制度の確立について協議を行う。

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 6 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
コード	774315				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
福山及び隼人地区内において合併前に実施した発掘調査により出土した遺物を実測し、時代別種類別に整理しまとめて報告書を作成する。 <報告書作成日程> 平成20年度 整理作業・遺物実測等 平成21年度 遺物実測・報告書作成 平成22年度 遺物実測・報告書作成			福山地区中袖木遺跡・弥勒院跡発掘調査報告書刊行				
			平成22年度計画				
				亀ノ甲遺跡・気色の杜遺跡出土品整理作業			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	発掘の面積	㎡	6,000	300	500	500	
イ	調査する文化財の数	件	0	0	2	2	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	文化財(埋蔵文化財)	点	2,500	2,500	3,000	3,000	
イ	"	件	0	0	2	2	
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	実測・接合し時代別に整理する	点	500	700	150	500	
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	適切に保存し、後世に残す。	件	667	684	690	700	
イ							

(2) 事業費		単位:千円	(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	6,245	3,264	合併前にそれぞれの地区において開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。その遺跡の整理作業を行い、報告書を作成する必要がある。
	補正予算額	0		
	予算合計	6,245	3,264	
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?
	県支出金	0		
	地方債	0		公共工事・民間開発行為者から、迅速な対応をして欲しいとの要望がある。
	その他	0		
	一般財源	6,157		
	支出合計	6,157		

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	2		2	11		11	11		11
7 賃金	2,756		2,756	2,226		2,226	2,300		2,300
8 報償費	10		10				1		1
9 旅費				5		5	5		5
10 交際費									
11 需用費	1,737		1,737	851		851	1,037		1,037
消耗品費	100		100	71		71	100		100
燃料費	7		7	51		51	7		7
食料費									
印刷製本費	1,399		1,399	30		30	200		200
光熱水費	213		213	669		669	700		700
修繕料	18		18	30		30	30		30
12 役員費	99		99	35		35	99		99
通信運搬費	80		80	35		35	80		80
広告料									
手数料									
保険料	19		19				19		19
13 委託料	1,460		1,460	42		42	1,500		1,500
14 使用料及び賃借料	93		93	94		94	90		90
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	6,157		6,157	3,264		3,264	5,043		5,043

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	6,157		6,157	3,264		3,264	5,043		5,043
計	6,157		6,157	3,264		3,264	5,043		5,043

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	6,245 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	6,245 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	埋蔵文化財の調査結果をまとめることは、記録保存され後世に残ることとなり、文化財の適切な保存に結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	埋蔵文化財を対象として、時代別に整理すること意図としており適切である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	遺物を年代別に整理することで、適切な保存がなされたことになるので、成果の向上余地はある。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	埋蔵文化財や包蔵地内での開発に関する手続き方法の周知を実施することは、文化財保護部局としては当然しなければならないものであり、埋蔵文化財保護の初歩的な事業なので、廃止・休止することはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	事業の一部を委託することで全体経費を削減できる。
C 効率性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	業務委託を行うことで、職員の業務時間削減は可能である。
	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種法令に基づき実施しており公平・公正である。
D 公平性 評価	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	整理が終了していない遺物については、年次整理計画を作成し、できるだけ早い時期に整理が終了するよう務める必要がある。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
業務の一部を外部へ委託することで、職員の業務時間削減を図る。	現地調査の段階から民間調査機関へ業務の一部を委託することで、さらに全体経費及び職員の業務時間の削減を図っていく。

事務事業コード	774320	事務事業名	山ヶ野金山ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1111
				内線番号	6382
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 14 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	7	文化財保護費		
コード	158090				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要) 山ヶ野金山史跡めぐりとしてウォーキング大会を実施することにより、金山史跡とふるさとの香りを味わいながらウォーキングを楽しんでいただく。 ①山ヶ野金山のウォーキング ②中学生による案内(説明) ③地元地区民による湯茶の接待 ④郷土芸能の披露 ⑤平成21年度全体事業費 1,447千円 (補助金540千円)								
補助金・負担金の交付先	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会		補助金の対象経費	1,447,295				
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	ウォーキング参加者	人		285	309	350	350	
イ	地元ボランティア	人		260	270	250	250	
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市民	霧島市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868	
イ	霧島市民以外の人	霧島市民以外の人	人					
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	山ヶ野金山について歴史・文化を正しく理解していただく。	ウォーキング参加者	人	285	309	300	350	
イ	ウォーキング大会を通じて地域住民の融和並びに活性化を図る。	地元ボランティア	人	260	270	250	250	
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	ウォーキング参加者		285	309	350	300	
イ								

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	540	22年度(予算)	530	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 山ヶ野金山を活かした地域おこしの一環として14年度から実施している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ ①参加者の申込が年々多くなってきている。 ②地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。
	補正予算額						
	予算合計			530			
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によるこぼれ、山ヶ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		540				
支出合計		540					

事務事業 コード	774320	事務 事業名	山ヶ野金山ウォーキング大会開催事業						担 当 部	教育部
									担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会 8人									補助金	540	補助金	530	補助金	530
										自主財源	907	自主財源	907	自主財源	900
										合計	1,447	合計	1,437	合計	1,430
									自主財源率	63%	自主財源率	63%	自主財源率	63%	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計									8人	補助金負担金合計	540	補助金負担金合計	530	補助金負担金合計	530
										自主財源合計	907	自主財源合計	907	自主財源合計	900
										自主財源率	63%	自主財源率	63%	自主財源率	63%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	540
補正予算	
合計	540

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングに参加することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にす愛護思想を育むことができ、地域の活性化にも繋がるので政策体系に結びつくことができる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者が文化財に対する意識を高めることが重要である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者数、案内説明場所、コース設定、山ケ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より効果を上げるため実行委員会で検討しているが、現段階では地域住民でできることを含め最大限の努力をいただいている。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にす心を育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民(中学生～高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の半額を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	約250名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分に実施している。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の案内については、市報・チラシなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。また、参加者は参加費を出していることから、公平である。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		文化財を活用しながら、地域の方がボランティアとして、ウォーキング大会の運営に携わっておられ、地域の活性化や文化財の周知に繋がる事業と考える。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
平成22年度は第10回をむかえ、記念すべき大会である。より多くの参加者があるように、参加費等を検討したい。また、地域住民の高齢化が進み、ボランティアの人数が減少することが考えられることから、新たなボランティアの募集・養成を実施したい。	山ケ野金山ウォーキングは、地元の有志でつくる「山ケ野金山文化財保護活用実行委員会」が主となり運営をし、教育委員会横川出張所が事務局としてバックアップしている。教育委員会職員が減少するなか、実行委員会に自主性を持たせ、職員の負担にならないように改善する。

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	774321			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から始まり、クマノ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。市内には数多くの文化財が点在している。そこで、地域住民が霧島市内の文化財を見学することで、文化財や郷土の歴史への認識を深め、愛郷心を高揚するとともに、文化財を大切にすることを心を持たせる。			市内史跡めぐり			
①市報・チラシなどによる広報・募集 ②市内全域を対象にした年8回の史跡めぐり(徒歩・バス) ③見学資料の配布・参加料の徴収(徒歩:300円, バス:700円)			平成22年度計画			
			市内史跡めぐり			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	史跡めぐりの実施回数	回	9	8	8	8
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	人口	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	郷土の歴史・文化を知ってもらう	史跡めぐり参加者数	388	237	300	310
イ	"	初めて史跡めぐりに参加した人	-	-	20	25
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	郷土の歴史を学んだ市民の数	9,254	9,512	9,600	9,800
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	235	207	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	0			
	予算合計	235	207		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	30			
	一般財源	87			
	支出合計	117			
				市民から、史跡めぐりについて、もっと積極的に広報してほしい。史跡めぐりの参加者から、今後も続けてほしいという要望が寄せられている。	特になし

事務事業 コード	774321	事務 事業名	市内史跡めぐり開催事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	18		18	20		20	20		20
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	12		12	50		50	50		50
消耗品費	12		12	50		50	50		50
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	87		87	137		137	137		137
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	117		117	207		207	207		207

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	30		30	123		123	123	
一般財源	87		87	84		84	84		84
計	117		117	207		207	207		207

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	235 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)	第5回		
	第2回 (9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	235 千円			

平成 21 年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明
バス使用時500円×30名×2回=30,000円

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を巡ることで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、郷土の歴史や文化を正しく理解することを意図しており適切である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	跡めぐり参加者を増やしていくことで、郷土の歴史、文化を正しく認識している人が増え成果が向上する。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は、外部講師の謝金、バスの借上げなど、必要最小限の予算で実施しているが、参加者にさらなる参加料を求めるなどの工夫が必要である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の史跡めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は外部から招聘することがある。)
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の広報も市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけている。バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、はがきによる募集を行い、定数を越えた場合は抽選を行なっているため公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 参加者が固定化する傾向にあるので、広報等の検討が必要である。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
参加者に資料代の負担を求める。 福山地区で開催されるエコーミュージアムとの連携で史跡めぐりを実施し、福山地区の文化財を市民に紹介する予定である。 各自治公民館へのチラシ配布・学校への呼びかけを行い、新たな参加者の掘り起しを行う。	市民の関心のあるテーマ・コースを適切に取り入れる。史跡めぐりコースが固定化しないように新たなコースの掘り起しを図る。